

研究課題名	PET 検査におけるデバイスレス呼吸同期撮影法の有用性に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科放射線診断学 教授 栗井和夫
研究期間	実施許可日 ~ 2025年12月1日
対象者	2022年3月から2025年3月の間に、体幹部にFDG高集積の腫瘍を有し広島大学病院でPET/CT検査を受けられた患者さん
意義・目的	PET画像の呼吸同期画像再構成により、呼吸の影響による画像の劣化が低減できることが明らかになっていますが、全ての症例で呼吸による画像の劣化を防止できるわけではありません。本研究では、PET画像を用いてデバイスレス呼吸同期画像を作成し、従来法とデバイスレス呼吸同期法によって得られたPET画像を比較することで、呼吸同期によってPET画像の影響の低減を確認できれば、臨床の場において画質向上に大きく貢献できると考えられます。
方法	本研究は、PET画像情報を調査して行います。 撮影されたPET画像から氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。 上述のように誰のものか分からないように加工されたPET画像を、PET装置メーカー（キヤノンメディカルシステムズ株式会社）に提供し、デバイスレス呼吸同期法による画像再構成を行います。なお、デバイスレス呼吸同期法による画像再構成は今後本学で実施する予定です。従来法で撮影されたPET画像とデバイスレス呼吸同期法で再構成された画像とを比較し、デバイスレス呼吸同期法によるPET画像の画質の改善程度を評価します。
研究の実施体制	研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科 教授 栗井 和夫 共同研究機関 キヤノンメディカルシステムズ株式会社
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科放射線診断学 教授 栗井 和夫
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5560 広島大学病院 画像診断部門 高内 孔明

